としょかんだより



令和8年11月号
鷹南学園三鷹市立東台小学校
図書館長　上原義人　　司書　青柳尚子

今月は、東台小学校の秋の読書週間(11 月 10日～11 月 21日)があります。図書委員会が、読書週間のイベントを用意しています。楽しみにしていてください。

2026 東台小学校図書委員会読書週間イベント

① 「しおりコンテスト」

今年は、図書委員がつくったしおりを図書館前の掲示板に貼り出しました。見てくれましたか？

みんなに、この中から、一番気にいったしおりを選んで、シールを貼って投票してもらいました。

コンテストの結果は、図書館前の掲示板で発表します。

上位に選ばれたしおりは、読書週間でプレゼントします。





② 本のおくりもの(借りて返却します)

図書委員がみなさんに、本のおくりものを用意します。どんな本が入っているか、借りて開けてみないと分かりません。それぞれの袋に貼られているメッセージを読んで、自分にぴったりのおくりものを借りてください。

メッセージは図書委員が一枚一枚心をこめて書きました。下の部分が切り取りになっていますので、そちらにメッセージや感想を書いて、図書館前掲示板に用意した「「お返事ボックス」に入れてください。

③ 1年生～4年生の各クラスに読み聞かせに行きます。

図書委員が担当するクラスのために本を選び、練習して読み聞かせに行きます。楽しみにしていてください。

④ くすのき村の皆さんによる「おはなし会」

1年生から3年生の各クラスに、おはなし会を行います。

日時　11月25日(水)、26日(木)、27日(金)　1時間目から4時間目の間

おたのしみに！！

11月は戦争について考えるをテーマに本を展示します。

今月の特集展示　「戦争について考える」

東台小学校の図書館には、「戦争・平和」コーナーがあります。分類に関係なく、戦争に関わる本を並べています。その中から、ぜひ皆さんに読んでほしい本を集めて展示します。

みなさんと同じ年ごろの子供たちの経験を通して、戦争のむごさや、かなしい思いをした人がたくさんいたことを、知ってください。

「アハメドくんのいのちのリレー」
鎌田實/著



12歳のアハメドくんは、パレスチナ自治区でイスラエル軍の兵士に誤射されて、脳死状態になりました。もし、あなたがアハメドくんの家族だったらイスラエル人に臓器提供できますか？
アハメドくんのお父さんは何を思い大事な息子の臓器を提供したのでしょう。

「いま、日本は戦争をしている」
堀川理万子/著



太平洋戦争の時、こどもたちは何を思い、どんな生活をしていたのでしょう。日本各地、樺太、満州、上海でみなさんと同じ年頃のこどもたちが経験したことは、本当にあったことです。話をしてくれた人は生き残りましたが、多くの方が命を落としました。

給食コラボ

戦争時代は男性が兵隊として戦地に行ってしまったため働き手が減り、戦後は多くの兵士などが帰ってきたため、食料が不足しました。そのため、人々は保存したり、かさを増やしたりして飢えをしのぎました。戦争が終わって81年たちましたが、当時の人たちが大変な思いをしたことを忘れてはいけないと思います。

今回、栄養士の三上さんのご協力で、戦争を考えるきっかけになるように、「保存したり、かさを増やしたりして少ない食料で工夫する食事」をテーマにメニューを考えていただきました。当時はこんなに栄養たっぷりでおいしい食事ではありませんでした。

つい嫌いなものを残してしまうこともあるかもしれません。食料を大事に思い、感謝の気持ちで食べてください。

11月18日(水)の給食メニュー

「保存したり、かさを増やしたりして少ない食料で工夫する」
- ・かてめし　　（かさを増やして工夫する）
- ・さかねのしおやき　　（塩で工夫する）
- ・たくわんのいためもの（保存食で工夫する）
- ・さつまじる　　（いもを積極的に取り入れる）









土曜日の地域開放
11月
7日・14日・21日・28日
★開館時間
9:30～17:00